
黒い対決

ノン仔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒い対決

【Nコード】

N4252C

【作者名】

ノン仔

【あらすじ】

夏休み、コナンと平次は灰原がいなくなったと連絡をつけた。謎の暗号と不可解な動き。そして見えてくる組織の影……果たしてコナンはもとに戻るのか！？かなりシリアスなストーリーです。

消えた灰原

今俺はジンと向かい合っている。いよいよ追いついたのだ…

三ヶ月前…

「おい。工藤おー」夏休みということ

で服部と和葉が遊びにきていた。

「おー！服部い。」久々の再会だ。4人は服部の希望で東京ドームへ行ったり和葉の希望で買い物に行ったりして精一杯楽しんでいた。この夏黒の組織と急展開を迎えることはコナン自身知るよしも無かった…

それは突然やってきた。

「何だつて！灰原が帰ってこないって？」博士の家に急に呼び出されたコナンと服部は驚いた。灰原が居なくなるというのは…組織がらみと考えるのが普通だろう。

「その姉ちゃん。ほんまに何も言わず居なくなってもうたんかあ？」服部が聞く。よく聞いてくれたとばかりに博士が話し出す。

「いや、違うんじゃない。実は哀くんのパソコンにヒントらしき物が残されてるんじゃないか。それがワシにはさっぱりなんで2人をよんだ訳じゃ。本当は新一1人を呼ぶはずじゃったんだが服部君も来ていると聞いてのう。もし組織がらみだったとしたら新一も必然的に危険に晒される。そんなとき西の高校生探偵が居たほうが安全だと思っただけじゃ。」博士は不安げに新一を見ながら言った。

「ばーろ。大丈夫だよ。それより灰原の残したヒントってのを教えるよ。」痺れをきらしてコナンがきいた。

「ああ。これじゃ。」博士がパソコンを2人へ向けた。2人の目にはいったのはJR西日本のホームページだった。

「なんやJRのホームページじゃないか。せやったらJRに西日本行きの切符買ってた小さい女の子見なかったか聞けばええんちゃうん？」平次が何だという随分簡単そうな顔で博士を見た。

「それはワシも思ってな、電話で聞いて見たんじゃ。じゃが小さい女の子が1人でいるところは見ていないそうじゃ。平日に小さい子が1人でいれば分かるはずだって駅員が言ってたからのう。」博士が困った顔でいう。

「本当に他にヒントは無かったのか？」　コナンが聞いた。　「ああ。すべて調べたんじやが何も無かったぞ。」

コナンはおもむろにパソコンを調べ始めた。
それから15分…

「あつたぞ。ヒントらしきメールが。」　「ええつ。」　服部と博士は同時に声をあげる。

「何て書いてあるんや。工藤！」

パソコンの画面…

、波の音”、潮騒の島”、姉妹が不幸にあつところ”

「何や。これ。届いたのはいつや？」　「日付は8月3日金曜日だな。どうやら出掛け先から携帯でメールしてきたみたいだ。」

「なんのことやろなあ？どこかの島のことみたいやけど姉妹が不幸にあつところってのがなあ…工藤なんかわかつたかあ？」

「いや。さっぱりわかんねえな。」

「そついやあ。島にいるってことは船にでも乗っていったんだよなあ？何でJRのホームページなんて見てたんだ？」

「船着き場までいくためやないんか？」 「でもよあ… JRには誰も乗って来てないんだろ。何か変じゃないか？」

2人が口論していると博士が割ってはいってきた。

「まあまあ。とにかく船着き場にいつてみようかのう。何か手掛かりが見つかるかもしれんからのう。」

博士になだめられ三人は東京に一番近い船着き場に行ってみることにした。コナンは未だ腑に落ちないことがあったがここにも仕方がないと勢い良く立ち上がった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4252c/>

黒い対決

2010年10月10日05時40分発行